

先生たちのアクティブ・ラーニング part2

4月22日（水）

月曜日にズームを使ってオンライン授業を模索したことを、昨日のHPで紹介しました。様々な課題はありますが、実施できるよう準備を進めていきます。帰り際にある若手の先生が、「ズームはリアルタイムなので、むしろYouTubeの方がいつでも見ることができる。」という一言から、YouTube案が浮上してきました。今日は、家庭科の先生が月曜日に研修を受けてきた「マスクの作り方」の動画をYouTubeで配信することに挑戦しました。

神戸新聞の記者さんから電話があり、私が「失敗やったら御免やで。」と言いましたが、取材に来ていただきました。とにかくchallengeです。

昨日、岸田教育長も教育長室からの中で、「子どもにとっていいことは、迷わず実践してください。100%を求めると世の中のスピードにはついていけません。70%でもいいから走りながら考えることも大切です。」と述べられていました。心強い後押しと捉え、教職員の知恵を出し合っていきたいと思います。



初めての試みですので、大掛かりな撮影となりました。撮影よりも大変な作業が動画の編集です。編集が終了し、準備が整った段階で保護者にラインネットを通じ、URL等お知らせします。

今回挑戦してみて感じたことは、大掛かりであったことです。1台のカメラで黒板や手元のみ撮影し、編集なしで配信すれば楽なのですが、そのためにはしっかりとシナリオを描いておく必要があります。今後も市内で教科ごとに集まり、動画を作成し、データを共有するなどしていけば、もっと手軽にオンライン授業ができると思います。

とにかく、理想を語っていてもしょうがないので、やってみて問題点を共有していければと思っています。